

## 40. 築 135 年の旧金物屋の古民家を活用した「ゲストハウス兼レストラン」の開業支援

(鳥取県智頭町)

タイトル	築 135 年の古民家を活用した「智頭宿 楽之(たのし)」の開業支援
銀行名	山陰合同銀行
取組みに至った経緯等	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代には参勤交代の街道でもあり、宿場“智頭宿”(鳥取県八頭郡智頭町)として栄えた町内の一角に、かつて金物屋を営んでいた築 135 年の古民家が残っていた。この古民家から灯りが消えてから久しく、伝統ある智頭宿の資産が消滅することへの危機感から、再び智頭町の宝として活かし、人が集う場所となることを願って再生事業の検討が始まった。(右写真：改装前)</li> <li>事業の検討・実施の中心となったのは、地元企業の(株)エコファイン鳥取(建設業、以降「同社」)であり、同社が長年培ってきたノウハウを活かした『町初のゲストハウス兼レストラン』へ再生。</li> </ul> 
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>同社は、智頭町の主要産業である林業振興の観点も重視し、リノベーションにあたっては、ほぼ地元の木材を活用した。また、本取組みを進めるにあたって、町民や町で働く人、学生、移住者など、地域を支える様々な主体の参画を促しながら共に作りあげた。同社は、地域資源である“木財”と“人財”という2つの『財』を最大限活用した取組みの旗振役を担った。</li> <li>当行では、地元自治体と連携し、コンサルタント会社の紹介や補助金申請等、事業計画の立案段階から事業性確保に向けた検討に積極的に関与。</li> <li>古民家改装資金の融資を実施するとともに、キャッシュレス決済(クレジットカード・仮想通貨)の導入による利便性向上や、旅館賠償責任保険への加入についても支援・アドバイスを実施。</li> <li>2018 年 12 月にオープンし、地域の方の憩いの場として、様々なイベント等も開催している。(下写真：改装後)</li> </ul>  
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープン後、地域のヒト・モノ・コトの交流を通じて、「これまで智頭町になかった新たな賑わい創出拠点」として地域に大きく貢献。その中で、ゲストハウス、レストラン共に開業間もないことから、運営オペレーションに課題が見られていたが、経験を重ねることにより運営ノウハウを蓄積しながら改善傾向にある。当行としても、引き続き、従業員のレベルアップと利用者の安定確保に向けた支援を行っていく方針。</li> </ul>
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「智頭宿 楽之(たのし)」HP：<a href="https://chizutanoshi.com/">https://chizutanoshi.com/</a></li> </ul>